

中央地区 第3回目に話し合った内容 (2019.1.23)



テーマ：私の理想の中央暮らし

中央地区ならではの理想の暮らしを考えよう！

【全世代を通じて】

■全世代が行事に参加し、つながる地域！

公民館行事など、全世代の多様な立場の住民が参加し、つながることで、中央地区らしさが守られる！中央地区は地域行事の参加率が高いことが特長！

【子ども期】

■中央地区の資源を生かして様々なふるさと体験を！

中央地区には、おいしい野菜がたくさんあり、名人もたくさんいる。このようなもの、人を若い世代へ伝承していくことが大切。いろいろなこと（農作業、漬物作り、職場体験等）を体験させる。子どもの頃の楽しい思い出により、将来「戻りたい」と思えるように、地域全体で子どもを育てるまちでありたい。

■「親子」で参加する地域行事を実施！

公民館行事、町内会行事に、親子で参加することで、子どもの頃から地域と関わる機会をつくっていくことが大切。親子で参加しやすいイベントを工夫して実施する。

【青年期・子育て期】

■消防団と地域住民が交流する機会をつくろう！

消防団の活動は地域の安心のために大切な要素。消防団と地域住民とで、一緒になって防災について考える交流があると、面白そうだし、地域力が高まるきっかけになるのでは。

■農業で生計をたてる暮らし

中央地区では農業で生計をたてるということが暮らしのメイン。所得をしっかりとあげるためには、圃場整備で区画を大きくして効率化を図ったり、または少量多品目生産や無農薬などのこだわりの農産物で付加価値を高めるか、どちらかの視点が必要になってくるだろう。

■共生会で福祉の仕事しながら地域づくりや農業と関わる

大雪の園、柏の里という福祉の仕事があることは中央地区の特徴。福祉で働きながら地域と関わるができる。地域の農業と共生会とで、農業と福祉とが連携した取り組みも可能では。

■Uターン者を呼び込む！しごとの充実、起業支援が大切！

視野を広げるため、1度は町外へ出るとは歓迎。町外で学んだことを、鷹栖町に戻って生かして、次の世代にもつなげてほしい。

Uターン者を呼び込むためには、しごとを充実させる取り組みが必要。経験を生かした面白いしごとが生まれるように、起業を応援する環境や制度が大切。

■定住を応援！住みやすい環境づくりと工夫した事業を展開

住み続けることでお得になるポイント制度など、おもしろい取り組みで工夫してみてください。

【シニア期】

■名人の技と知恵を子どもたちに伝承する

農業やものづくりなど、シニアの技術を子どもたちに伝承する取り組みをする。子どもにとってはもちろん、シニアにとっても活躍の場となり、生きがいにつながる。

■中央地区に住み続ける！多世代で支え合う地域に！

仲間づくりや交流の場を持ちながら、中央地区に暮らし続けたい。地域として持続していくためにも、子どもたちや若い世代に戻ってきてもらい、多世代で支えあう地域でありたい。